



心身ともに健康に

内・歯科検診と育児相談

「きれいな町で健康な暮らし」―町では、乳児からお年寄りまでを対象にさまざまな検診や予防対策を実施しています。

三歳児健康診査もその一つです。三歳児は、人生でつき当たる最初の曲り角にきているといわれます。自我が育ち、家庭から集団生活へと生活圏域が広がり、精神発達もその速度を増していきます。同時に、多くの感染症に感染する機会も増えてきます。従ってこの時期は、子供の発達過程について正しく認識し、必要な生活習慣を身につけさせながら伸び伸びと健康に育てることが大切です。

健康診査では、お医者さんの内・歯科検診と、町・保健所の保健婦や児童家庭相談員らが育児相談、保健指導を行っています。

健康は最大の宝なり―あなたが又はあなたのお子さんが該当する検診は積極的に受診し、健康な体で毎日の生活ができるように努めてください。(写真……四月十六日の三歳児健康診査、朋楽荘で)

町の 生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

自治会長功勞で二氏表彰

なまの意見を町政に反映

納税優良表彰一個人・二組合

今年の部落自治会長会議は、四月二十日有鄰館で開かれ、会議に先立ち、自治会長として長年にわたり部落自治の振興と町行政の円滑な推進に協力し、町勢発展に寄与された二氏と、納税意識の高揚に特に顕著な成績をあげている一個人・二納税組合に、町長から表彰状と記念品が贈られました。

町の発展は、私たちの最も身近な共同社会である部落自治会の発展なくしては考えら

れません。それだけに、集落運営にあたり、住民と町政のパイプ役をも務める自治会長

さんの果たす役割は大きく、その活躍が期待されるどころです。

こうしたことから町では、年度初めにあたり、町内

全自治会長さんに参集願ひ、なまの意見を聞いて町政に反映し、よりよい町づくりに努め

ようと毎年この時期に会議を開いているものです。

会議では、まず町長があいさつに立ち▽出羽丘陵開

全自治会長を前に重点施策の概要を説明し、理解と協力を要請する町長



発事業▽水道拡張事業▽小学校統合▽ゴミ処理対策▽健康な暮らしの推進▽公共事業の概要▽第三期山村振興計画など、昭和五十七年度施策の重点事項について説明するとともに、「本町行政は、各団体、町民各位のご協力により年々向上してきている。過疎・へき地といったイメージから脱却し、東田利は郡・県内でも胸を張っていける町である」という意識、自信を持つてほしい」と述べ、町政に対する

いっそうの理解と協力を要請しました。

続いて、来賓を代表して小野町議会議長から祝辞が述べられ、各課長が、お知らせと協力依頼事項について説明しました。

このあと、意見交換に入り、自治会長側からは▽低所得世



自治会長功勞表彰を受けた小松竹三郎氏(上)と遠藤聚一氏(下)

帯学生への就学資金貸付▽ゴミ処理指導▽粗大ゴミ処理対策▽自治会に配布される害虫駆除剤の調査方法及び散布時期▽休養と家族の触れ合いの日への配慮——などについて活発な質問、意見、要望が寄せられ、これに対して各担当課長からは、早急かつ積極的に対処していく旨の回答がなされました。

表彰納税貯蓄組合、各課からの主なお知らせ協力依頼事項は次のとおりです。

◎納税優良表彰

- ・八嶋耕二郎氏(五海保納税貯蓄組合)
- ・向田納税貯蓄組合
- ・宮の前納税貯蓄組合

◎お知らせ

《総務課》

○「町づくり広報バス」について(五月下旬～九月上旬)町内一日コースで年八回運行。詳細については後日お知らせする。

《企画財政課》

○土地売買等の届出について国土利用計画法により、本

町の場合は一〇、〇〇〇平方メートル(約一町歩)以上の土地の売買等の契約(予約を含む)をする場合は、売人、買手があらかじめ届出書を町長を通して知事に提出しなければならない。

知事は、届出書の内容が適当であれば六週間以内に許可する。許可がなければ、登記はできないことになる。

届出用紙は役場(企画係)にある。

《税務課》

○昭和五十七年度町税の納付について

(1)、町・県民税と固定資産税には前納報奨金の制度がある。前納の場合は、印かんを持参して。

(2)、五十七年度は固定資産の評価替えの年度であり、固定資産税第一期の納期限は五月三十一日となる。

(3)、国民健康保険税は、五十六年度に比べて全体で約一％の減である。課税限度額は、法律の一部改正により二十七万円になる。

○町たばこ消費税の確保の面から、たばこは町内で買うようにしてほしい。

《住民課》

○ごみ処理について
ごみの不法投棄はやめて。ごみは、捨てるという習慣から処理するという考えに。地域や自治会でごみ処理場を設ける場合は役場に連絡を。(産業経済課)

○「低コスト型高位安定稲作り運動」の推進について
・先に配布した「稲作栽培のしおり」を活用し、稲作の原点に返り、低コスト型高位安定稲作りを。

《建設課》

○水路利用再編対策の推進について
ほ場条件整備のための補助、及び融資制度、転作物栽培のしおりなどを効率的に活用し、所得の増大を。

《道路課》

○道路敷の無許可使用の禁止について
道路側溝を埋め立てたり、小橋を架けたり、工作物や建物をたてたりする場合は、道路管理者(知事又は町長)の許可が必要。(旧道路敷も同じ)。

許可願に関する用紙は役場(建設課)にある。詳しいことはお問い合わせを。

○全町球技大会は、自治会等の負担が大き過ぎるという声が強いので中止した。かわりに、サークルや職場等の自主チームによるバレーボール大会を行う。(6月27日予定)

○古い民具、農耕具等を民俗資料として保存しているので、収集に協力を。

○ふるさと写真史の編集のため、郷土史にかかわりのある写真を集めている。お手持ちの方は公民館に連絡を。複製の後にそのまま返す。

校開塩八受け福祝

複式・老朽の不安解消

住吉小と玉米小が統合して四月から発足した八塩小学校の開校式が同月五日、臨時校舎である旧住吉小体育館で行われました。八塩小の誕生を祝うかのように青空が広がり、うららかな春の陽ざしに恵まれたこの日、式には、町、議会、教育委員会の関係者、同校教職員、児童、地域住民ら約二百五十人が出席、同校の新しい門出を祝い、限らない発展を祈念しました。



開校式には地域住民ら250人が出席し、新生八塩小の限らない発展を祈念した

式は午後一時三十分に始まり、君が代斉唱に続いて佐藤教育委員長が「新校舎が完成するまではこの校舎を臨時校舎として使用することになり、不便なこともあると思うが、学習には支障ないよ

う万全の措置を講じる。皆さんは、早く仲よしになり、お互いに手を取り合い、励まし合って、りっぱな八塩小学校の生徒になるようがんばってほしい」と式辞を述べました。続いて、町長が「義務教育制度がしかれて約百年。今日また新たな歴史が開かれ、学校ばかりでなく学区という教育社会が新しく生まれました。お互いに理解し合い、学校の発展のみでなく、教育、社会の発展を心から祈る」と祝辞。さらに、小野町議会議長、相

庭中央教育事務所由利出張所長補佐からお祝いのことが述べられました。

このあと、斎藤校長が「みんな仲よく、早くお友達になり、いっしょうけんめい勉強運動してりっぱな心と体をつくっていただきたい。住吉・玉米両校の百年にわたる歴史、伝統を受け継ぎ、りっぱな八塩小学校を築き上げるよう努力していきたい」とあいさつ。児童を代表して六年生の阿部玲子さんが「今までとは違った暮らしになり、楽しいこと

元気に校門くぐる

八塩小 一期入学生二十八人



「入学おめでとう」――四月五日と六日、町内各小・中学校の入学式が行われました。旧住吉小学校を臨時校舎に五日開校式を行った八塩小学校でも六日、お父さんやお母さんに付き添われた二十八人が、八塩小第一期入学生として元気に校門をくぐりました。喜びと不安の入り混じった面持ちの一年生は、在校生や父兄の拍手に迎えられて式場へ入場。

担任の先生紹介に続いて一人一人名前を呼ばれた新入生は、大きな声で「ハイ」と返ピカピカの名札を胸に、入学を喜ぶ八塩小第一期新入生

や悲しいこと、困ることがあると思うが、みんなで助け合い、がんばり、すばらしい八塩小学校にしていきたい」と述べ、新生八塩小の限らない未来に向けて新たなスタートを切りました。

新校舎が完成するまで当分は狭い校舎でガマンの生活を続けなければならない状態ですが、参列した地域住民らは、複式学級と老朽校舎の不安が解消されることなどを心から喜び合っていました。

事。中には、返事とともに父兄席をふり返り「ニコッ」とする子もいて、我が子の暗れ姿を後ろから見守るお父さんやお母さんのほうが、うれしさの中にもいささか緊張気味のようでした。

式では、斎藤正男校長が、「新入生の皆さんは、八塩小の最初の一年生です。いまの学校はちよつと狭いですが、みんななかよく、元気いっぱい過ごしてください。明日からはバスや歩いて通学することになります。交通安全に気をつけ、お兄さんやお姉さんといっしょに元気に登校してください」と式辞を述べました。

式典終了後には、上級生が劇や踊りで歓迎。おりこうさん？の一年生は、目を輝かせ見入っていました。

一戸当たり150万円の公共事業

町・県営合わせて21億円

先ごろ、昭和57年度の国・県予算も決まり、今年は町・県営事業合わせて21億円余りが町内の生産基盤や交通網、生活環境などの建設事業に使われることになりました。これは、一戸当たり金額にして約150万円、米換算にして85俵分の事業を全家庭で実施する計算になります。今号では、これらの中から主なものの概要を紹介します。



待望の全線舗装が決まり、喜びの乾杯をする祝沢地区の人たち

大台農道一億八千八百万円

民家が点在し、幅員三メートル程度の道路が入り組んでいる大台集落内に、今年から新たに、団体営農道整備事業として全幅五メートル、車道幅員四メートルの農道が四カ年計画で整備されることになりました。大谷地内を起点に大台・大落を通って農免農道根小屋線に接する延長二、六八〇メートルの路線で、総事業費は一億八千八百万円を見込んでいます。このうち六五％は、国・県からの補助金です。



大吹川 地すべり災害 今年中に復旧

大琴と大吹川を結ぶ農免農道軽井沢線は、九千六百万円で大琴から下吹間の改良（橋含む）を予定しています。また、昨年、同線大吹川地

初年度の今年は、三千三百万円で、全線用地買収と大谷地側から改良五〇〇メートルを予定しています。

同線が完成すれば、集落内各戸を結ぶ幹線道路となり、冬期間の交通路も確保されることから、本来の農道としてのメリットだけでなく、生活関連道路としても地域発展に大きく貢献していくものと期待され、一日も早い完成が待たれています。

内で発生した地すべり災害の復旧工事費として五千四十八万円が積みまわした。工事は県で行い、五十七年度で完了の予定です。

このほか、災害発生地付近一帯の地すべり対策費一千万円となっています。

広域付帯農道整備事業八沢木地区として工事が進められている高村線は、今年五千万円で樽水地内三〇〇メートルの改良と河川の一部つけ替え工事を予定しています。

同線は、本町小倉から高村

祝沢線を全線舗装

祝沢線の大揚台採石場から祝沢集落までの三、三四〇メートル

が、今年から二カ年計画で全線舗装されることになりました。

た。



工事は、特殊改良四種事業として県が行うもので、今年は一億八千八百万円で採石場から笹倉トンネルまでの一、〇四〇メートルが計画されています。四月二十二日には、由利土木事務所から担当職員が来町し、祝沢会館で事業実施に関する説明会が行われ、地域住民らは、待望の舗装工事着手を心から喜んでいました。今年で復旧工事完了の大吹川地すべり災害地

※特殊改良四種

車道幅員三・五メートル以上の未改良路線の簡易舗装を行う事業であるが、改良済みの路線であっても交通量等から当分の間、高級舗装とするまでもなく簡易舗装で処理することが適当と考えられる場合には、暫定措置として適用されることになっている。舗装工の構造については、簡易舗装要綱によることとされている。

なお、未改良路線の簡易舗装を実施する場合には、手戻りをなくするため原則として向こう五カ年間に道路の改良計画のない路線であることが条件とされている。

した。

なお、これまで一般地方道だった県道老方沼館線（祝沢線）は、横手雄物川線及び湯沢雄物川大曲線の一部と結ばれ、今年四月一日から横手東由利線となり主要地方道に指定されています。

本町と矢島町、仁賀保町を結ぶ仁賀保矢島館合線は、田代・沖田橋からダム道路と呼ばれる牧道沢中線手前までの舗装、沖田橋から川原田橋（高戸屋）間の改良、沢中地内の用地買収及び補償費など、合わせて一億二千九百万円となっています。

法内線・全線改良済みに

一般に法内線と呼んでいる
県道神岡坂部横渡線は、中の
沢地内改良工事費九千三百万
円、昨年改良済みとなった小
倉地内七四〇の舗装工事費



蔵工区のト ンネル完成

国道一〇七号線蔵工
区には、今年六億一千
七百万円の予算がつき
ました。これにより、
わら沢から横渡橋間の
二つのトンネルの完成
と盛土工事を予定して
います。

このほか、一〇七号
線関係では、新町の鹿
島神社下のブロックよ
法内線は今年、中の沢
地内(写真)が改良され
て全線改良済みとなる

う壁の災害防除工事費二千八
百万円となっています。

町道関係では、昨年から県
が町に代わって改良工事を進
めている西山線に六千六百万
円。市町村道路整備事業とし
て二分の一の補助を受け、昨
年から舗装工事を進めている
金山線は、三千万円で杉森地
内一、一七〇を予定してい
ます。

このほか、町単独事業とし

て、大平支線(湯の沢)と西
の股線(沼)の改良、地下の
沢線と島田線(島)の舗装を
計画しています。

県営ほ場整備事業は、今年
四億円で、暗渠排水六十四
のほか、明通線舗装、横山線
改良、小用・排水路などの整
備が計画されています。

若者も喜んで定着できるよ
うな農村を作ろうと、五十五

町長訓示

自覚と責任を持ち

言語・動作はきちんと

町長は四月一日、新年度にあたり、町の抱えている
課題や問題についての考え方を述べながら、全職員に
次のように訓示しました。

職員として気をつけなければ
ならないことを申し上げます。
毎年同じことを言いますが、

仕事は、自己完結をしないで、
財政の確立に尽力されまし
た。新村誕生とともに出納
員、産業課長を歴任し、昭
和三十八年に再び東田利村
収入役に推され、以来、昭
和五十年三月退任するまで
三期十二年間にわたり、行
政の健全化、安定化に尽
くされた功績が認められた
ものです。こうした功績に
より、昭和五十一年に町功
労者表彰を受けています。

昭和五十七年春の生存者叙

春の生存者叙勲

佐藤玉治氏が勲五等



佐藤玉治氏

勲で、前町収入役の佐藤玉治
氏(七十八歳、館西)が自治
功労として勲五等に叙せられ、
双光旭日章が授与されました。
佐藤氏は、戦時体制いよい
よ厳しい時期の昭和十九年、
玉米村収入役に就任し、昭和
三十年の玉米・下郷両村合併
まで十一年間にわたり、村行

必ず周囲、上下と連絡協議を
十分に行い、進めていってほ
しいということです。
最近、反省会というものが
少なくありませんが、反省と
いうことの基本は、同じこと
をやるにしても、常にその問
題、事業の原点に返り、新し
い視点、視野で物を見るとき
う態度だろうと考えます。
これから異動の辞令を渡し
ますが、各課長、係長は、行
政能力のほか、若い職員を教
育する責任があるということ
を考えてほしいと思います。
電話のかけ方や言葉使いなど、
細かいことを注意するのはい
やです。しかしやらなければ

年度から事業を進めている農
村総合整備モデル事業では、
八千万円で宇戸坂水路工、向
山線改良、葎沢線及び倉茂沢
線の舗装、大吹川・袖山地区
営農飲雑用水施設整備を予定
しています。

杉森に会館建設

宿地区で五十二年から進め
ている農村基盤総合整備事業
(略称・ミニ総バ)では、杉
森・沼両集落道の舗装と宮の

下線(大琴地内)の改良、杉
森休養施設(会館)などを計
画し、四千九百万円を見込ん
でいます。

また、法内と宮の前、上里
地区で行っている土地改良総
合整備事業は、四千五百万円
で、石滝線(上里)と稲子沢
線(小倉)の舗装、直道線(桂
台)の改良などを予定してい
ます。

なりません。同時に、若い職
員も自発的に勉強しなければ
いけません。基本的なことは
自分自身で勉強しなければな
りません。役場のことを勉強
するのは役場の机の上だけで
ということではなく、二十四時
間中、公務員としての勉強を
するという気持ちこそ是非持
てもらいたいものです。

いつも申し上げることで
が、皆さんの顔や声は、東田
利の顔、声であるという自覚
と責任を持つていただきたい
ということです。举措は端正
に、言語動作もきちんとし
てもらわなければなりません。

連絡・協議ということをし
し上げましたが、これには会
議を数多く必要とします。し
かし、会議は長時間やっては
いけません。要点を整理し、
短時間に終える工夫をお互い
にやらなければならぬと思
います。
世の中とは矛盾だらけです。

その矛盾だらけのものを、我
々は行政の立場で齊合してい
くということですので、算術
でものを割るようにはいきま
せん。そこに我々のつらいと
ころがあり、工夫があるわけ
です。

矛盾をどういうぐあいにし
て出来るだけ齊合させ統一し、
方向付けていくかということ
これが行政の目標であると同
時に、そういうことに苦勞し
ていくと人間が成長していく
ものと考えます。現実的なも
のを、ひとつの基本をはずさ
ないままに人に納得させ、処
理していく、これが行政の難
しさであり、それが出来てい
くということになると人間と
いうものが周囲から大きく見
える、お互いにそういう勉強
をしなければならぬと考え
ます。

昭和五十七年、お互いにか
んばっていただきたいと思います。

労働者就労
出稼打ち合わせ会

出稼就労安
全対策協議会

を
設置

地位向上と安全就労確保

春の農繁期に入り、ほとんどの出稼者が帰省した四月二十六日、グループリーダーなど約八十人が出席して「町出稼就労打ち合わせ会」が、有鄰館で行われました。

これは、前年度の出稼ぎを反省し、問題点を話し合うとともに次季就労に向けて情報交換を―と、毎年この時期に開いているものです。

この日は開会に先立ち、就労前健康診断受診優良グループとして、石井建設・長谷山班就労者代表の長谷山勘太郎さん(地下の沢)に、町長から表彰状が贈られました。

打ち合わせ会では、まず、町長があいさつに立ち、半年間の出稼ぎの労をねぎらうとともに、公共事業の概要や出羽丘陵開発事業、水道拡張事業の実施に係る考え方などを説明し、豊かな住みよい町づくりへの理解と協力を要請しました。

続いて、小野町議会議長、加賀屋県出稼ぎ対策室参事、大島本荘公共職業安定所総括職業指導官、小松東由利農協参事らからあいさつがありました。

この後、協議に入り、町担当係が五十六年度の就労状況

について、大島総括官が雇用

保険受給手続きについてそれぞれ説明。出席者からは、「出稼ぎ者」という名称を変えてほしい、といった要望が出されました。



また、席上、公共事業発注量の減少や国際貿易の不均衡からくる製造業へのしわ寄せなど、厳しい社会、経済情勢の中で、出稼ぎ者の地位向上と安全就労を確保するため、新たに、出稼ぎ者及びその家族を会員とする「町出稼就労安全対策協議会」の結成について提案され、全員賛成のもとに設

置を決め、役員を選出。引き続き、事業計画、予算を審議。当面は、補助金や寄付金などで運営に当たり▽就労前健康診断全員受診の徹底▽求人情報の連絡強化▽優良事業所の調査選定▽留守家族対策―などを推進していくことになりました。

協議会の役員は次のとおりです。会長、副会長は、理事の互選。任期は二カ年で、五十九年三月三十一日まで。

〈会長〉 畑山清一(下吹)
〈副会長〉 庄野徳一郎(下小路)・木島忠一(黒沢)
〈理事〉 佐藤昇(荻沢)・高橋慶二(下通)・阿部重助(野田)・畠山友雄(大吹川)
〈監事〉 小野与治郎(時雨山)・長谷山松記(山崎)・畠山光悦(下通) (敬称略)

横山・小松・佐藤さんに表彰状

千葉公共職業安定所長らが贈る

季節労働者として、責任感

をもって仕事に励み、極めて勤務成績が優秀で他の従業員

の模範です―と、先ごろ、泡の渕の横山与一郎さん(四十八歳)、須郷田の小松久賢さん(三十三歳)、地下の沢の佐藤俊悦さん(三十二歳)に千葉公共職業安定雇用対策協議会長、千葉公共職業安定所長から表彰状が贈られまし

た。

横山さんらは、数年前から毎年、千葉県・鬼怒川ゴム株式会社に就労に行っており、そのまじめな就労態度が認められたものです。

表彰状を手にした三人は、「今後も、この表彰状に恥じないようがんばりたい」と喜びを語っていました。



表彰状を手に喜びの右から佐藤・横山・小松さん

初の三台中継放水訓練も

黒淵地区で大火防止訓練



本番さながらの活動を繰り広げた大火防止訓練

黒淵で火災発生、全分団出動せよ―四月十六日、町の防災計画に基づき春の大火防止訓練が黒淵地区で行われました。

今回は、異常乾燥・強風注意報発令下の午前十一時頃、黒淵地区内の民家付近から火災発生の通報を受け、気象、水利などの悪条件を考慮し全分団が出動して風下への延焼防止と包囲攻撃の作戦をとり火災鎮圧にあたっていったところ、防ぎよ隊の間引きを縫って飛び火による林野火災、第二次住宅火災が次々に発生した―という想定。「火災発生、全分団出動」を知らせるサイレンとともに、町・消防関係者、警察官、交通指導隊、東北電力、地元住民、合わせて二百五十余人と車両二十五台が出動し、約四

十分間にわたって本番さながらに消火、救急、広報活動を繰り広げました。

この日はまた、水利の悪条件を考え、消防車三台による高瀬川からの吸水、中継放水訓練が今回初めて行われたほか、初期消火訓練として地元住民のバケツリレー消火活動、婦人消防隊員の消火栓直結放水活動、さらに、ヤシオ縫製の避難訓練も行われ、地域の防火思想の高揚に大きな成果を収めました。

毎日が防火デーです、ぼくの家―これからは、空気の乾燥した日が続き火災の発生しやすい時期になります。火の取り扱いには一人一人が細心の注意を払い、家庭では「防火会議」を開き、火事を出さぬよう、悲惨な「赤い炎の犠牲」にならないようにしましう。

特別会計の状況

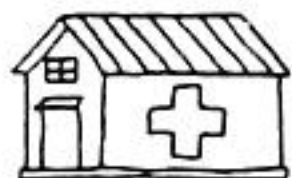
(単位：千円)

国民健康保険特別会計



予算額 445,785
収入済額 384,440
支出済額 340,578

黒淵診療所特別会計



予算額 2,011
収入済額 2,850
支出済額 1,590

簡易水道事業特別会計



予算額 29,017
収入済額 25,748
支出済額 25,427

玉米財産区特別会計



予算額 914
収入済額 2,526
支出済額 623

注：五月末日まで出納整理期間となっており、今回の報告と決算とは異なる場合があります。

昭和五十六年度下半期（五十七年三月三十一日現在）の町財政の状況をお知らせします。昨年度は、国の苦しい台所事情から、財源特別債の充当率が七五%から六〇%に引き下げられるなど、一段と厳しい環境の中での財政運営を余儀なくされました。しかし、国・県の諸制度を積極的に活用し、限られた財源を効率的に配分し健全財政の堅持に努めた結果、一般会計最終予算額は、二十億六千七百七十四万三千円となり、当初予算十八億五千六百六十五万二千円に比べ一・〇%の増となりました。

一般会計最終予算額 2,061,743千円

〈歳入〉 収入済額 1,829,246千円 (88.7%)

(単位：千円)

	最終予算額		構成比 (%)
町 税	155,111	(10,258)	8.7
地方譲与税	23,950	(0)	
地方交付税	834,263	(83,003)	40.5
国庫支出金	112,945	(△27,644)	
県支出金	439,959	(△ 108)	
繰入金	0	(△33,000)	26.8
繰越金	90,984	(0)	4.4
町 債	276,700	(△ 400)	13.4
その他収入	127,831	(7,252)	6.2

〈歳出〉 支出済額 1,738,173千円 (84.3%)

(単位：千円)

	最終予算額		構成比 (%)
議会費	47,161	(1,765)	14.2
総務費	245,451	(35,495)	
民生費	169,984	(△ 8,175)	11.1
衛生費	59,371	(△ 128)	
労働費	5,302	(463)	
農林水産業費	717,230	(3,520)	35.3
商工費	5,094	(561)	
土木費	189,634	(21,348)	
消防費	105,653	(3,501)	9.2
教育費	200,794	(10,049)	5.1
災害復旧費	87,197	(△40,366)	9.7
公債費	209,399	(2,460)	4.3
諸支出金	15,473	(8,868)	10.2
予備費	4,000	(0)	0.9

凡例 済 未 ※カッコ内は下半期補正額

昭和56年度
(10月～3月)

東由利町の財政

下半期財政報告

財政報告書の作成及び公表に関する条例（昭和三十年条例第二十号）に基づき、昭和五十六年度下半期財政状況を次のとおり公表します。

公債現在高

1,900,283
千円

内訳

過疎辺地債

734,560
千円

義務教育債

116,343
千円

財政対策債

323,630
千円

災害復旧債

75,614
千円

その他

650,136千円

・転貸債分 (45,593)

・公有林整備債 (151,635)

・他 452,908

償還費に対して国から手当てされる割合

基金 426,422千円

土地 7,072,523㎡

(うち山林 1,262,937㎡)

町有財産
財政調整基金 254,048千円
国保財政調整基金 107,219千円
簡易水道財政調整基金 18,345千円
土地開発基金 20,000千円
高額療養費貸付基金 2,000千円
中小企業振興基金 6,000千円
奨学資金貸付基金 1,010千円
国民年金印紙購入基金 400千円
高齢者等肉用牛飼育事業貸付購入基金 17,400千円

建物 28,707㎡
有価証券 1,493千円
出資による権利 8,009千円
自動車、ブルドーザー等 32台

町有財産

トラックで五台

国・県道の空き缶拾い



ポイ捨ての空き缶…“通り魔汚染”は公德心の問題です

雪消えとともに目立ってくるものの一つに、道端の空き缶があります。投げ捨てられた空き缶は、街や自然の美観を損なうばかりでなく、回収・再資源化つまり省エネルギーの点でもマイナスです。

「きれいな町で健康な暮らし」を生活目標の一つに掲げている町では、四月十二・十三日の両日、同月二十五日から行われる春の全町清掃週間に先駆けて、住民・建設関係員やブルオペレーターらが出て板戸・奥ヶ沢間、八日町・智者鶴間、蔵・小倉間合わせ三十キに及ぶ国・県道沿線の空き缶拾いを行いました。側溝や路肩の枯れ草の中から

拾いあげられた空き缶の量は、二日間で四、積みトラック五分。捨てられたモラルの量の多さに、ゴミ袋を手にした職員らもびっくり。

近くにクズかごもないし、一つぐらいいはーと投げ捨てられる空き缶や紙くず。『通り魔汚染』は、わたしたちの公德心の問題です。

道路も自分の家の庭と同じです。他人が見ていないからといって『窓からポイ』はいけません。

美しい自然を守り、ゴミのないきれいな町で快適な生活が送れるよう、お互いに気をつけましょう。

空き缶もお金
と同じ貴重品

お金を捨てる人はまずいないでしょうが、空き缶となるとどうも『ポイ』と簡単に捨てる人がまだまだ多いようです。しかし、空き缶もいまやお金と同じ貴重なものです。特に、アルミ缶は、省資源・省エネルギーにつながる価値ある資源です。

アルミ缶は、ボーキサイトだけでできているため、古缶から新しい缶に簡単に再生できます。回収缶を再生してアルミ缶の地金を造るときエネルギーは、原料のボーキサイトから新たに製造する場合に比べて約二十七分の一で

町長日記

東北工業大学の教授に、芳岡秀夫先生という方があって、東北の民芸を指導されていると聞いて、一度お目にかかりたいと思っていました。ところが、その指導が実践されているところが岩手県の大野村にあると知り、先日視察してきました。久慈市から入った県北の村で、規模は、本町より大きく人口八千、大野の名のように丘陵地帯で、畑地が多く、酪農では岩手の先進地であり、また、出稼者も一千人ほどいるという村であつた。

ここに新しい文化が芽生えていた。中心になつてい

る人は「三本木烈さん」という建具屋が本職で、かわら土産物の南部駒の製作もしていた人で、県の工業試験場で勉強中に芳岡先生と知り合い、指導を受けるようになったということである。

発想は、村内にある雑木、むという、大きな省エネ効果があります。

「価値ある資源」空き缶を無造作に捨てるのは、文字どおり資源の無駄です。貴重な

赤松等を素材として、日常生活の汁器類を都会的な感覚のデザインで製作し、製作者から直接都市の需要者に販売するというので、それがみごとに成功し、十人ほどのグループで年間一億の販売、東京のデパートで即売するまでになったというのである。その間約四年。この人達の考え方は、手造りのものを直接需要者に渡すことによって、都会と地方との人間関係の回復が生まれ、生産方式も大きな工場ではなく、それぞれ個々の工房でのコミュニティ生産方式であることで都会人の趣味に合う心の通いが出来るものが生産出来るというのである。

彼らの周辺に「物々グループ」という人達がいて、デザイン、流通に協力しているそう、確かに、新しい生産文化の芽が芽生えていると感じた。

「空き缶資源」のポイ捨てをやめて回収ルートに乗せるとともに、環境の美化に努めた

東田利の
地名

= 23 =

前回のボツメキのように、本町にはカタカナの小字や地名がいくつかある。

例えば、アクト・ダオノス・ザクマエ・オボケ沢・メタダレ・ザラメキ・コカゲ・セキネなどが、どんなことから呼ばれるようになったのだろうか。適当につけたのでなく、それ相当の理由があつたのころと思われ、いくつかの考

えを記してみたい。

①アクト(悪土)

大琴下の川向いで、土地

が肥えてないとか、川の曲がる地域でしばしば浸食される土地、水の便がよいことなどから悪土となつたのではないか。

②ダオノス

高屋部落の近くで、ながねを越えると沼部落に通ずる安堵路と接する小字で、大字の

カタカナの地名①

宿と杉森の接点でもある。元は馬産地としての放牧や草刈場であつたが、今は杉などが植えられて当時のおもかげはない。

このダオノスは、ダオとスの複合したものでないか。ダ

オは撓と書き、山頂の道のあるところや峠、山の稜線の低くくぼんだところ、またもののたわんで低まつたところの意を持つ。スは、鳥獣や昆虫などがこもり住むところで、産卵したりひなや子を育てたりする巢を意味するが、馬の尾の毛にも使われる。

このことから、タオ(ダオは濁つたもの)は付近の地形を表わし、スはそのに住む動物を言つて地名でないか。一説には安塔路のお寺があつて、路は寺の変つたものとも言われるが真偽は不明である。

(文・畑山昭一)

5月のこよみ

陰暦・皐月(さつき)

曜	日	行	事
1	土		
②	日		
3	月	憲法記念日	
4	火		
5	水	こどもの日	
6	木		
7	金	ことぶき大学	
8	土		
⑨	日		
10	月		
11	火	老人健康診査	
12	水	生ワクチン投与(有隣館)	
13	木	全県植樹祭(西目町)	
14	金	老人健康診査(有隣館)	
15	土		
⑬	日		
17	月	牛アカバネ病予防注射(17日~22日)	
18	火	老人健康診査(有隣館)	
19	水	ツベルクリン(有隣館)	
20	木	軽自動車税督促状発送	
21	金	B C G	
22	土		
⑭	日		
24	月		
25	火	老人健康診査	
26	水	三種混合予防接種	
27	木	農業委員会	
28	金	老人健康診査(有隣館)	
29	土		
⑮	日		
31	月		
摘 要		31日 固定資産税(1期)納期限	
		10日~16日 愛鳥週間	

おしらせ

町の概要

人口総数 6,279人
うち男 3,095人
うち女 3,184人
世帯数 1,435戸
面積 148.51km²
(57.3.31現在)

風しんに注意!

生ワクチンで免疫を

風しんが、県内各地で多発傾向にあります。

風しんは「三日はしか」とも呼ばれ、小児の代表的な発疹性ウイルス病疾患の一つです。風しん自体は軽症であり、特別の対策は必要ありませんが、免疫のない女性が妊娠初期にかかると、目や耳、心臓などに障害等(症状を総称して先天性風しん症候群と呼ぶ)をもった新生児を

出産する可能性があります、十分な注意が必要です。

先天性風しん症候群を未然に防止するため、免疫のない妊娠予定者には予防接種(生ワクチン)を受けることが勧められています。詳しいことは、医療機関や役場住民課衛生係にご相談ください。

老人ホーム寮母募集

本荘由利広域市町村圏組合

◎募集人員 若干名

◎受験資格 昭和36年4月2日以降に生まれ、高校卒業程度の学力を持つ本荘市及び由利郡内に住んでの方で、採用された場合、本荘市及び岩城町にある組合施設などに通勤可能な方。

◎試験日及び場所 昭和57年6月21日・広域行政センター学習ホール。

◎応募資格 特に制限なし。

懸賞論文募集

地方公営企業法施行30周年記念

◎申し込み受付期間 昭和57年5月27日から6月10日まで(郵送の場合は当日消印有効)

◎受験手続きなど詳しいことは「本荘由利広域市町村圏組合事務局総務課(電話〇一八四二一三二〇一九)」にお問い合わせください。

◎テーマ 「あすの地方公営企業」地方公営企業経営のあり方」など、今後の上・下水道、公共交通、公立病院などの地方公営企業のあり方や経営に関する論議するもの、又は地方公営企業に対する公営企業金融公庫からの金融のあり方、その他必要な施策などについて論じるものであれば、なんでも結構です。

◎応募資格 特に制限なし。

◎原稿

1、二百字詰原稿用紙五十枚以内。

2、応募原稿には、目次及び一千字以内の要旨を添付するとともに、住所、氏名、生年月日及び職業(勤務先の名称、部課名、職名、在学中の方は学校名、学部、学年)を明記してください。

3、原稿は未発表のものに限ります。

4、応募原稿は返却しません。

◎送り先・問い合わせ先

〒102 東京都千代田区平河町二ノ四ノ三 財団法人 地方財務協会(電話〇三二二六一八五四七)封書に「30周年記念論文在中」と朱書きしてください。また、持参されても結構です。

◎締切 昭和57年6月30日(当日消印有効)

◎入選 57年9月に発表。一

交通事故のご相談は お気軽にどうぞ 無料でご相談に応じます

午前9時半~午後4時半(平日)

土曜日は正午まで

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。

◎弁護士相談日:毎週木曜日午後1時~4時

社団法人 日本損害保険協会

秋田自動車保険請求相談センター

秋田市中通 3-2-44 河北ビル5階

秋田調査事務所内

☎0188-32-3279(直通) 0188-33-7501

社福だより

香典返しとして、故菊地盛之助氏のご遺族(菊地賢次郎さん、八日町)、故遠藤直記氏のご遺族(遠藤清喜さん、小倉)から金一封が届けられました。

故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

慶弔だより

3月21日~4月20日まで

〇ついで声

畑山治樹 島 興三 長男
杉野さおり 横渡 賢一 長女

〇結婚

猪股 寿和 大琴
小鳥 知子 本荘市
佐藤 新一 新 処
遠藤 イサ子 小倉
佐野 貞雄 館新田
高橋 とう子 十二の前

・お悔み申し上げます

小松ウメノ 家の下 82歳
遠藤 直記 小倉 56歳
高橋喜一郎 須郷 67歳
小松 キン 坂戸 84歳
小野 マツエ 宿 91歳
小野 美喜雄 高屋 29歳

これくらい

それが心の「赤信号」



随時に実技指導も

今年の体育指導委員活動



今年度初めての体育指導委員会が、四月十九日公民館で開かれ、新委員二名に対する委嘱状の交付が行われたあと、本年度町社会体育事業の内容についての検討や、町社会体育施設等にかかる振興計画などについて話し合いがなされました。

その結果、今年度の活動として町社会体育事業の実施運営にかかる協力を従前どおり行うことを始め、独自の活動として、ゲートボール普及のためのルール講習を各地域で行うこと、また、体育施設充実策として、町民体育館建設に向けての調査、スキー場整備のための内容検討に取り組みむことにしました。

体育指導委員

役職名	氏名	住所	電話
委員長	佐々木 正輝	大 琴	2350
副委員長	佐 藤 智治郎	八 日 町	2055
委 員	阿 部 清 治	蔵 新 田	2578
〃	梅 津 嘉 人	大 琴	2343
〃	遠 藤 熊 雄	新 処	2554
〃	武 田 秀 夫	須 郷	3498
〃	小 松 正 武	高 戸 屋	2679
〃	伊 東 一 夫	蔵	2061
〃	大 庭 喜一郎	舟 木	3214
〃	村 上 栄 志	新 町	3350
〃	佐 藤 良 子	田 代	3622
〃	佐 藤 カヅ子	須 郷 田	2083

家庭の日

専ら家族団らの日に!!

公的事業取りやめ

青少年非行が戦後第二のピークを迎えた昭和四十一年一月、家庭環境を明るくし、青少年非行問題を解決して行く……と、秋田県は、県民の合意を得て毎月第三日曜日を「家庭の日」に定め県民それぞれが家族団らんを確保する日として来しました。

しかし、十七年を経た今日、生活環境の著しい変化とともに

十二名となっています。

スポーツの実技指導等については、随時町民のみなさま方からの要請にもとづき取り組んでいく予定であります。が、同委員たちは「おおいにご利用いただきたい」と意欲をのぞかせています。

社教関係団体

今年の活動

町連合婦人会（小松ミキ会長）は、四月十五日に開かれた理事会で、さきの総会で定めた昭和五十六年度の重点目

連合婦人会

役職名	氏名	住所	電話
会長	小 松 ミ キ	高 戸 屋	2679
副会長	佐 藤 サガミ	須 郷 田	2083
〃	高 山 愛 子	横 小 路	3188
監 事	佐 藤 久	下 通	3027
〃	阿 部 ト ミ	杉 森	3646
庶務係	佐々木 タエ子	大 琴	2347
会計係	小 松 キ	中	2367

連合青年会

役職名	氏名	住所	電話
会長	長谷山 順 一	舟 木	3439
副会長	鈴 木 和 雄	蔵	3112
〃	渡 辺 主 江	田 代	2654
事務局長	小 野 孝 悦	上 里	3292
監 事	小 野 清 夫	宿	3965
〃	高 橋 京 一	十二の前	2706

標

○くらしを高める運動をすすめるよう
○明るい社会づくり運動をすすめるよう
○組織の強化をはかるよう

を再確認の上、二年続きの冷害で打撃をうけた町民の生活の見直しのため、関係団体との連携をはかりながら精一杯の運動をすすめていくことにしました。

また、町連合青年会（長谷山順一会長）でも四月二十四日に総会を開き、昭和五十七年度の活動の主目標として、①活動が停滞し、崩壊寸前の単位青年会の立て直しのため、単青組織強化委員会を設置する ②会員相互学習の場として宿泊を伴った青年講座を数回実施する ③ななどを決定しました。



国道クリーン

アップ実施

町青少年団体連絡協議会（小松義嗣会長）では、昨年に引き続き、町内の国道一〇七号線を重点にクリーンアップを実施します。

これは、国道沿いに散乱した美観をそねている空き缶やゴミくずを一掃し、「きれいな町づくり」をしようと実施するもので、今年は、五月五日に行うことにしています。

民俗資料 寄贈ありがとうございます

東由利中学校に設置している民俗資料室に次のとおり貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございます。小松真一さん（黒沢）からねぎり・糸巻機・火打用箱・手のこぎり・薬研（木製）・軍隊背のう

新刊購入図書

▼とらえられたスクールバス（前編・後編）▼閉ざされた時間割▼などの転校生▼すばらしい探検の世界①シルクロードの東と西▼いまなぜ生涯学習か▼秋田県教育史第二巻資料編二▼公民館のあるべき姿と今日的指標・総集版▼古文書時代鑑（解説本付）▼芥川賞全集第一・二・三巻▼日本大歳時記・夏